



創立150周年

6月号（令和5年5月31日発行）

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

「150周年の歴史をつないでつきすすめ」

校長 玉置 恭美

児童の代表委員会で決定した、令和5年度のスローガンです。「歴史をつないで」という部分に、創立以来、学校、地域が一丸となって守ってきた「鉄」の伝統を知り、さらに地域と繋がり、これからの未来にこの歴史をつないでいく、という子どもたちの思いが現れています。昨年度から「まち」を知る活動を、総合的な学習の時間を中心に行ってきました。昨年度は、1、2年生のまち探検に始まり、3年生、4年生は、自分たちで課題を設定し、それを深く掘り下げて、探究し、発表しました。150周年の今年度、さらにそれを進化させ、SDGsの視点で、自分の

「まち」はもちろん、広い社会、世界にも目を向け、疑問点について調べたり、課題を解決に向け、考えていったりする機会を持つことができるよう、教職員一同、指導に力を入れていきます。150周年という記念すべき年度に、同じ時間を共有できる幸せを感じつつ、全校一丸となって思い出多き年にしたいと思います。



記念キャラクター・ナコマちゃん

先日、全校児童対象に交通安全教室が行われました。青葉警察署の交通課の方々やスクールサポーターの方のお話を聞きました。神奈川県内で平成28年から令和2年までで歩行中の交通事故で死傷した人の年齢は7歳（小学1、2年）が最も多くその原因のほとんどが「飛び出し」であったとのこと。横断歩道で、左右をしっかりと見ずに飛び出したり、歩道でかけっこをして事故につながったりすることも多いようです。子どもは一つのことに夢中になり、道の反対側で友達が呼んだので急に飛び出す、同行する大人に

依存して自分で安全確認をしない。また、手を挙げる、左右を見る、と伝えるだけではその目的を果たせない子もいる。「運転者に見えるように手を挙げる」「車が来ないか右、左、もう一度右を見て渡る」など、具体的な指示が必要とのことでした。子どもは視野の広さが大人の3分の2程度ということも、運転者、歩行者共に認識すべきことです。



交通安全教室